

第3章 ごみ排出量の推計

第1節 人口推計

将来人口の推計は、過去10年間の実績値からの時系列トレンド推計方式により推計しました。推計値を図3-1、表3-1に示します。これより、平成35年度における行政区域内将来人口は、平成24年度の68,419人から1.5%減少し67,403人と推計されます。

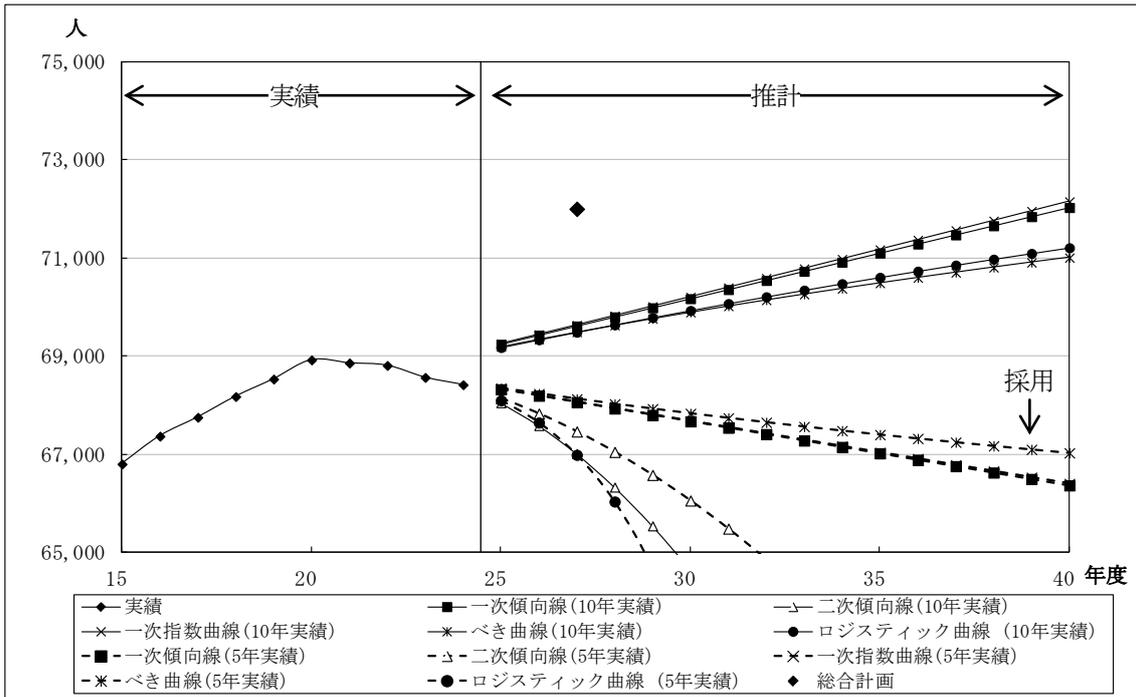


図3-1 人口推計結果

表3-1 人口推計結果

項目	人口(人)		H. 24に対する 増加度(%)	判定結果
	H. 24(実績値)	H. 35(推計値) 5年実績を基に推計		
実績値	68,419	-	-	-
一次傾向線	-	67,021	-2.0	×
二次傾向線	-	62,679	-8.4	×
一次指数曲線	-	67,041	-2.0	×
べき曲線	-	67,403	-1.5	○
ロジスティック曲線	-	40,457	-40.9	×

注) 上位計画である第4次総合計画で示されている計画人口に対し、どれも下方推計となっているが、過去5年間で減少傾向であること、今後大規模な開発による社会人口増加は想定されないことから、最も増加度にブレがないべき乗式(過去5年実績を基に推計)を採用

第2節 ごみ排出量推計

1. 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみ排出量の推計は、家庭系ごみ排出量（各分別区分）原単位の推計値と将来人口推計値の積により求めました。家庭系ごみ排出量原単位の推計値を図3-2、表3-2に示します。これより、計画目標年度の平成25年度における家庭系ごみ排出量原単位は、平成24年度の707g/人・日から7.4%減少し655g/人・日と推計されます。

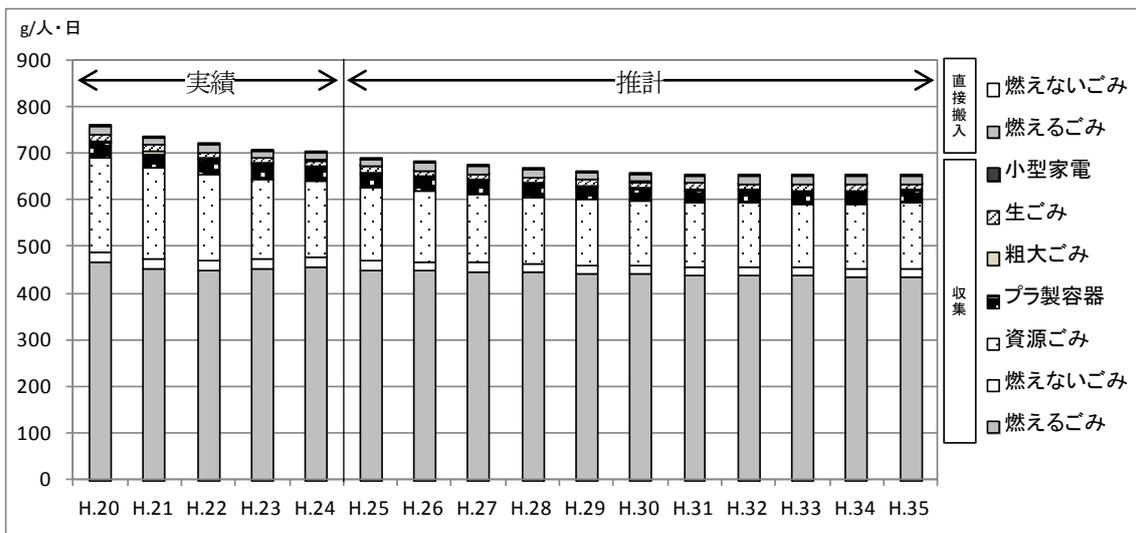


図3-2 家庭系ごみ原単位推計結果

表3-2 家庭系ごみ原単位推計結果

項目	排出量 (g/人・日)		H.24に対する増加度 (%)
	H.24 (実績値)	H.35 (推計値)	
家庭系ごみ	707	655	-7.4
収集ごみ	687	636	-7.5
燃えるごみ	457	435	-4.7
燃えないごみ	20	18	-12.9
資源ごみ	166	143	-14.0
プラスチック製容器包装	29	25	-13.7
粗大ごみ	3	4	3.9
生ごみ	12	12	0.0
使用済小型家電	1	1	0.0
直接搬入ごみ	20	19	-3.4
燃えるごみ	17	16	-2.5
燃えないごみ	3	3	-8.2

※算定根拠については資料編参照

2. 事業系ごみ排出量

事業系ごみ排出量の推計は年間排出量より求めました。事業系ごみ排出量の推計値を図3-3、表3-3に示します。これより、計画目標年度の平成35年度における事業系ごみ排出量は、平成24年度の3,070 t/年から1.7%増加し3,122 t/年と推計されます。

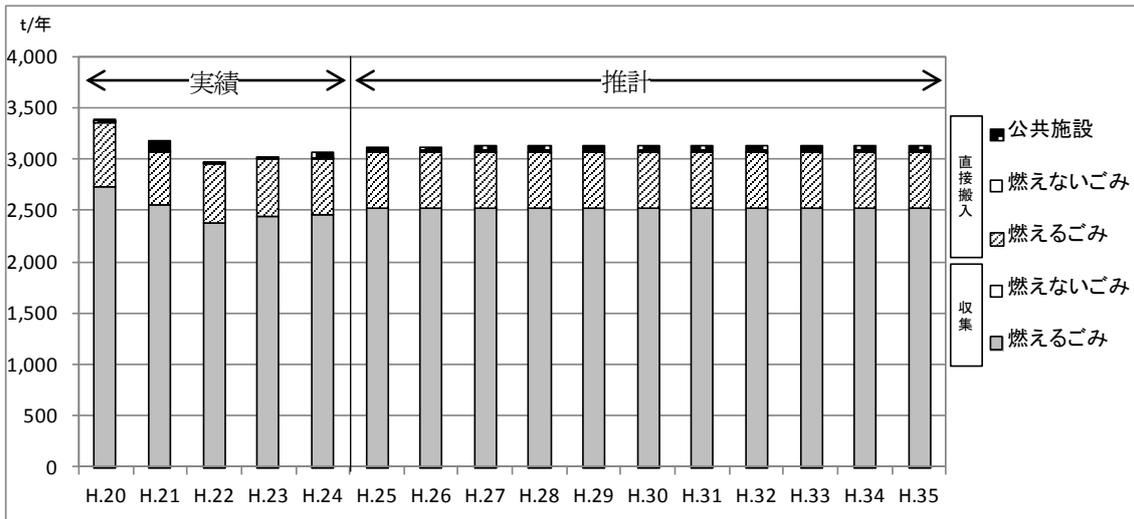


図3-3 事業系ごみ排出量推計結果

表3-3 事業系ごみ排出量推計結果

項目	排出量 (t/年)		H.24に対する増加度 (%)
	H.24 (実績値)	H.35 (推計値)	
事業系ごみ	3,070	3,122	1.7
収集ごみ	2,449	2,511	2.5
燃えるごみ	2,449	2,511	2.5
燃えないごみ	0	0	—
直接搬入ごみ	621	612	-1.5
燃えるごみ	557	558	0.2
燃えないごみ	0	0	—
公共施設	63	53	-15.5

※算定根拠については資料編参照

3. 総排出量

ごみ総排出量の推計値は家庭系ごみと事業系ごみの排出量の推計値を加算し算定しました。推計結果を図3-4、表3-4に示します。これより、計画目標年度の平成35年度におけるごみの総排出量は、平成24年度の20,722 t/年から7.2%減少し19,223 t/年と推計されます。

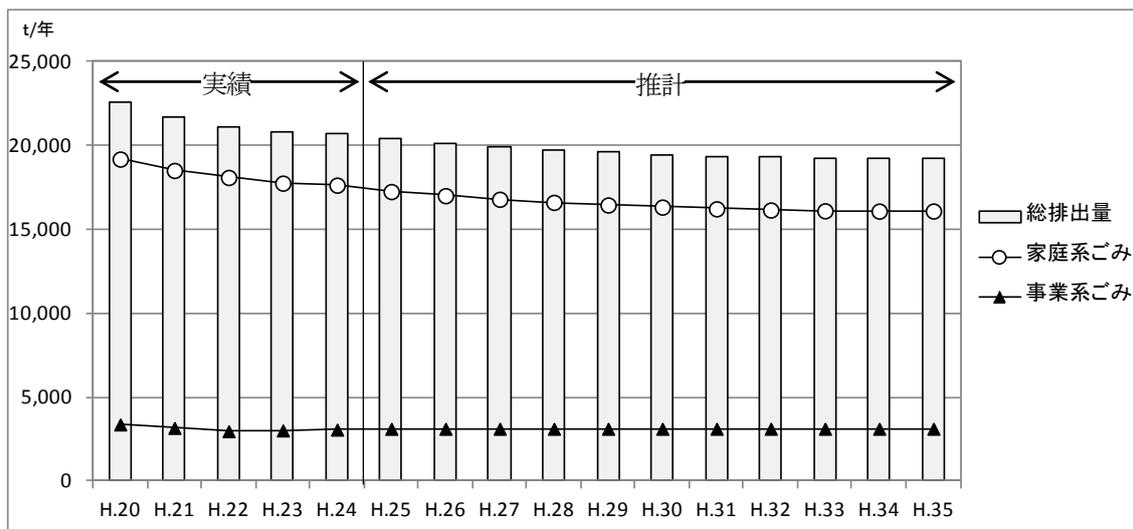


図3-4 総排出量推計結果

表3-4 総排出量推計結果

項目	排出量 (t/年)		H. 24 に対する増加度 (%)
	H. 24 (実績値)	H. 35 (推計値)	
総排出量	20,722	19,233	-7.2
家庭系ごみ	17,652	16,110	-8.7
事業系ごみ	3,070	3,122	1.7